

ただいま  
活動中

## 富田地区学童保育所

本年4月1日、市内では18カ所目の学童保育所として開設。

共に暮らし、共に育て。

- 保育時間：授業終了～18時
- 入会金：3,000円
- 保育料金：平日放課後8,000円/月  
一時保育 1,000円/日
- 夏休み保育 20,000円
- \*保育内容、料金など詳細は保育所まで。
- 所在地：四日市市南富田町15-18
- 問合せ：富田地区学童保育所  
☎(0593)64-3525

### お母さん達の悩みにこたえて

仕事を持っている、又は仕事をしたいと思っているお母さんの数は、年々増えてきています。そして、そんなお母さんの一番の心配事は、放課後のわが子の生活です。「家に子どもだけで残しておいて大丈夫かしら…」そんな声に応え、子ども(小学生)を預かってくれる民営の学童保育所が四日市の各地につくられています。その中の一つ、今年の4月にできたばかりの富田地区学童保育所を訪ねてみました。

私達が訪ねた10月11日は6名の子どもがいました。宿題をすますとおやつの時間です。さっそく指導員の指示で、子ども達はヨーグルトデザートを作り始めました。「今日は〇〇君の歯が抜けた記念日だよ」誰かのことばにみんなの笑い声。彼は今日、グラグラになっていた歯がめでたく抜けたのだそうです。こうして、ワイワイおしゃべりはずませながらお菓子を食べている様子は、まるで本当に“歯が抜けた記念パーティー”?のようでした。その後は遊びの時間。近所の子どもらも加わり、外で大勢で遊んでいる、こんな光景は久しぶりに見たような気がしました。

### 動かすのは、地域の理解

「子どもが少ないので、遊び友達を探すのも大変です。ここはお友達がいっぱいいるので、子どもがとても気に入っています」「家にいる時よりきちっとした生活習慣が身につけてきました。ここで作ったおやつを家でも時々作ってくれるんですよ」「先輩のお母さんに子育てや学校のことなど、いろいろ相談できるのが心強いです」など、お母さん達に好評のこの保育所も、立ち上げる



までにはたいへんな苦勞があったようです。これら民営の保育所を立ち上げるため、市の補助を受けるには、地域の各種団体代表の参加が条件となっています。そこで、保育を必要とする父母の気持ちだけでは、話がたち切れになってしまうことも少なくないようです。「特にこの地区は高齢化が進んでいますので、直接関わりのない人が多いなか、学童保育とは?から始まり、母親が仕事を持つことに対しいろいろな考えを持った人達に、その必要性を理解していただくのは、たいへんな作業でした。未来への財産である子どもを健全に育てていくのも地域社会の役割であること、単身家庭など学童保育を切実に必要としている人がいることなどを、とにかく根気よく何度も説明し、話し合う場をつくっていきました。この保育所の会計を務める民生委員・青木秀生さんのことばに、設立へ向けボランティアで働いてこられた方々の熱意が、地域を動かしていたのだと感じました。



### 地域をつなぐ架け橋として

「人と人とのつながりが希薄なこの時代、将来ここが、単なる保育の場だけでなく、社会生活の体験の場としてもっと多くの子どもに開かれ、様々な行事をとおして、地域社会と若い親子をつなぐ架け橋となれば一」学童保育に託した青木さん達の夢が、お母さん達の願いと一つに重なり、地域に大きく広がっていくことを一番望んでいるのは、「ここにいると友達がたくさんいるから楽しい」と話してくれた子ども達かもしれません。

●四日市市には現在この富田地区学童保育所の他に17の学童保育所があります。詳しくは、P8をご覧ください。



私も学童保育所を作ろうと立ち上がったものの、その大変さに断念し、離れて育てました。子どもには寂しい思いをさせましたが、学童の明るい子どもたちを見て、ますますその必要性を感じました。